

改善しようと思ひつゝ労働組合の組織の必要に迫られ昨年十月其準備  
 に着手したるもたゞ處が横暴になりしる會社は極度に狼狽して突  
 如當時の辰野校長 助場校長 生殿 助役の三名に對し 在野言言を以て  
 首を擧げ 穩健の組合に在りし様と力に組合名は非常な憤慨して其  
 界外を以て會社に屬せしむると決然起るが二行初に種々とした  
 の心づかぬ會社に其此を悟るに遂に吾等労働者の主張を述べた  
 公約条件

- 一 職首三名を休職して三月以内の休職當時の地位を以て其  
 以上の場所の復に復職せしむる事、
- 一 三月以内の休職期間中は休職當時の全給を支給する事、
- 一 従業員の方働組合の組織及加入は本人の自由たる事、
- 一 休職期間中の他の従業員が昇給したる場合は三名も昇給する事、

組合の発達の會社の切崩し案

以上条件は組合側の有利解決のため組合員は白く在りし 激増 全  
 従業員六百餘名の内組合員五百三十名と算するにすぎず、た  
 だ此の會社は如何にも是れ切崩しと絶えず 少く烟工を用ひ  
 来りしはたその其基礎が意外に鞏固で何等の効果もなしたため益々佳  
 慮し非道は昨自切崩したる精神を無視して三名の内二名は復職  
 を見せしめたか一名は本社結して美名のもとにありし 一名飯田の町を去る  
 合意山奥の善波合村に迫る而して外界との連絡を絶つて 又一名個  
 人間に起るを問題か目下激業中なりと口実を以て左右に 應にありし  
 露骨に圧迫を加へて来りしす  
 交渉 遂に決裂

其處に吾ら東京の労働同盟本部に打電し本部より出張士を以